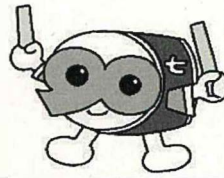


# 校長室だより



令和2年5月11日

校長 齋藤 瑞穂

## 残念！学校再開は6月に

5月末まで、休校が延長になりました。

始業式の次の日から、みなさんは学校再開に向けて、健康に気を付け、しっかり課題に取り組んできたことと思います。先生たちも、休校の分を取り戻せるよう、授業計画をしっかり練り、みなさんが学校へ帰ってくるのを準備万端整えて待っていました。主事さん方も、校舎のろう下をピカピカに磨き上げ、芝生や花だんの手入れもていねいに行っていました。学校が再開できないのは本当に残念です。

しかし、報道されているように、新型コロナウイルスの感染拡大は、安心して学校を再開できるほど、収まってはいません。かけがえのない命を守るため、医療にたずさわる方々の懸命な努力が続いています。

このような状況の中で、私たちにできることはただ一つです。感染を広げるような行動をとらないこと、つまり「ステイ・ホーム」しかありません。もうしばらく、自分自身と自分の大切な人の命を守るために、がんばりましょう。

新型コロナウイルスとの戦いはまだまだ続きます。始業式で話した通り、「真剣」に取り組んでいきましょう。

## 「真剣」とは

真剣の「剣」の字は、刀のことです。真剣とは、もともと木刀や竹刀に対しての「本物の刀」という意味で使われていたことばです。今でも「真剣」を辞書で引くと、一つ目の意味として「本物の刀」が出てきます。

本物の刀とは、人の命を奪う力のあるものです。だから、「真剣勝負」と言えば、命をかけて戦うこ

とを意味しました。そこから、真剣とは、「物事に対する取り組み方が本気であること。また、そのさま。まじめ。」（講談社「日本語大辞典」）を表す言葉となったのです。

今、まさに世界の医療従事者の方々は、新型コロナウイルスと真剣勝負をしています。自分も感染するかもしれないという不安を抱えながらも、命がけて患者さんの治療に取り組んでいるのです。

学校再開まで、私たちも真剣に、「感染しない・させない」ために「ステイ・ホーム」に取り組みましょう。

## オタマジャクシがカエルになりました。

職員室前のピオトープにたくさんいたオタマジャクシ、そういえばすっかり姿を見なくなったと思っていたら、グルルルル…カエルの声が聞こえてきました。しかし、声はすれども姿は見えず。写真を撮ろうとしばらく粘ってみましたが、現れませんでした。



代わりにピオトープに咲いたキョウブをパチリ。

黄色があざやかできれいな花ですが、なんと「要注意外来生物」。環境省から警戒を呼びかけられている植物だそうですよ。環境にどんな影響があるのでしょうか。5年生のみなさん、ぜひ調べてみてください。

## 保護者の皆様

休校が再び延長となり、子供たちの学習について心配されていることと存じます。休校期間の長期化に伴い、今月より、課題の内容を基礎的・復習的なものから徐々に新学年の学習を進めるようにして参ります。さらに、子供たちの学習リズムを整え、計画的に学習を進められるよう、週ごとに学習時間割を示します。

これまで自由に活用していただいていた課題ですが、今後は全児童が取り組み、学習するものとして、保護者の皆様には課題の配布・回収に一層のご協力をお願い申し上げます。